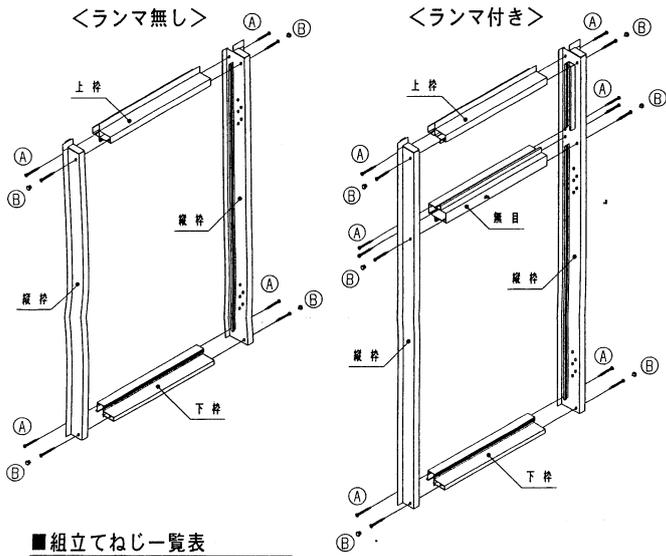


●お願い……●この説明書は、必ず施工される方にお渡しください。

■組立て手順

■枠の組立て

※図中の記号は、使用ねじの種類を表します。



■組立てねじ一覧表

(A)	(B)
なべタッピンねじ φ4×35	プッシュボタン

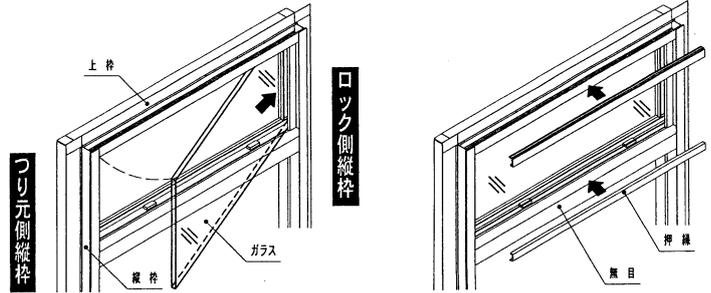
■ランマ部ガラス寸法表 (単位:mm)

	H	W
単板	GH+16	GW+14
複層	GH+24	GW+24

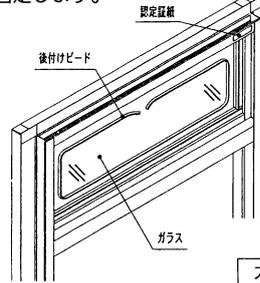
■枠ランマガラスの入れ方

①ロック側よりガラスを入れてから、つり元側にずらしてください。

②上枠・無目に押縁を入れます。



③後付けビードでガラスを固定します。



※後付けビード及びガラスは別途手配願います。
 ※ガラス寸法は下の「ランマ部ガラス寸法表」を参照してください。
 ※防火戸として使用する場合は必ず防火用後付けビードをご使用ください。
 ※防火戸として使用される場合は認定証紙に組立事業所No.を記入し、内観側より右側上部の枠面に貼付けてください。

■認定証紙



ガラス厚	3	4	5	防火用(6.8)
後付けビード	3mm用	4mm用	5mm用	6.8mm用

※ランマ付枠用の住宅防火戸(防火設備)証紙は、6.8mm用後付けビードに同梱されます。

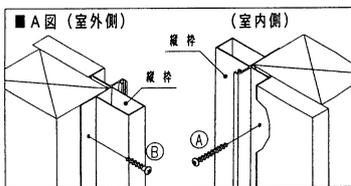
■取付け手順

■開口部の作り方

- ①下げ振りで前後、左右の狂いや柱同士のネジレなどを正しく調整し、水準器でマグサの水平を出してください。
- ②ドア本体を枠につり込み、一体にして開口部に仮止めます。(A図)
 ※開口部が調整されていないと、枠がゆがみ施工不良の原因になりますのでご注意ください。

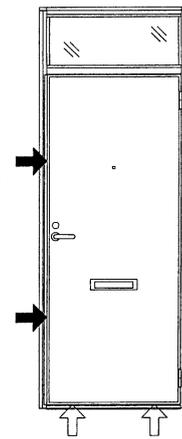
■取付けねじ一覧表

(A)	(B)
トラスタッピンねじ φ4×35 (1種)	丸木ねじ φ3.8×25



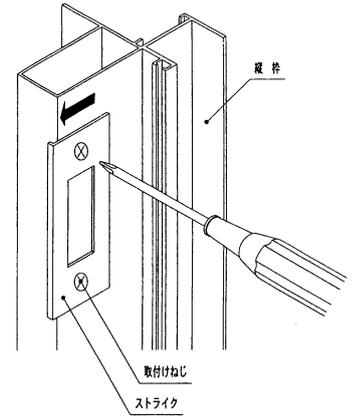
■透き間(サリ)の調整と取付け

- ①上下(↑印)及び左右(→印)の透き間を均等にし、戸当たりパッキングがドア本体と密着するように枠のネジレ・コロビを調整します。
- ②取付け調整後、ドアの開閉がスムーズに出来るか確認した後、本固定します。(■開口部の作り方A図参照)



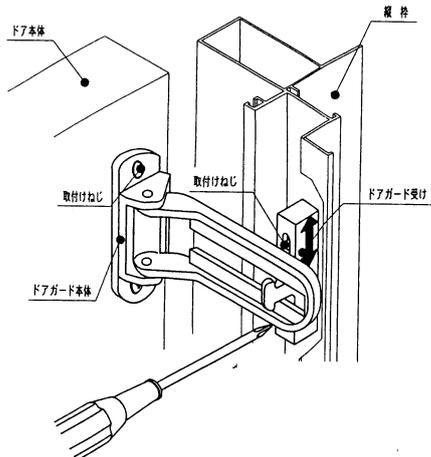
■ストライクの調整

- ①ドアロックのラッチがかからない場合は、ストライクの取付けねじをゆるめ、ストライクの位置を調整してください。



■ドアガードの調整

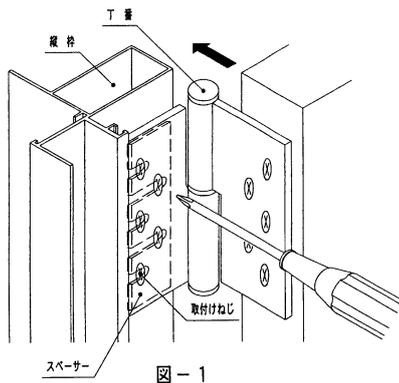
- ①ドアガードが受けにかからない場合は、取付けねじをゆるめ、受けの位置を調整してください。
- ②ドアガードがスムーズに操作できるか確認してから本固定してください。



■建付け調整

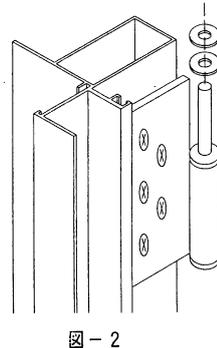
1. 左右方向の調整 (図-1)

- ※スペーサーは丁番取付け時に差し込んで取付けます。
- ①丁番取付けねじ(5本)をゆるめます。
 - ②スペーサーを引き抜いて外します。
 - ③丁番ねじを締め付けます。
- ※スペーサーを外すと1mmつり元側へ寄ります。



2. 上下方向の調整 (図-2)

- ①ドア本体を枠から外し、丁番の軸に付属のワッシャー(丁番セットに同梱)を入れます。もしくは、丁番の軸に付いているワッシャーを1枚抜き取る。
- ※ワッシャーを追加すると1mm上がります。また、ワッシャーを抜き取ると、1mm下がります。



3. 前方向の調整 (図-3)

- ①ドア本体を枠から外し、枠側の丁番取付けねじ(5本)、丁番裏板取付けねじ2本をゆるめます。
 - ②裏板ごと丁番を室外側に出すと3mmです。
- ※各取付けねじを全部外すと裏板が脱落しますのでご注意ください。

